【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2002-507662(P2002-507662A)
【公表日】平成14年3月12日(2002.3.12)
【出願番号】特願2000-538046(P2000-538046)
【国際特許分類】
Ｃ２１Ｄ　9/567　(2006.01)
Ｃ２１Ｄ　1/53　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２１Ｄ　9/567
Ｃ２１Ｄ　1/53

【手続補正書】
【提出日】平成17年5月18日(2005.5.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　物品を処理するための方法において、物品を流動床内に配置する工程と、物品を流動床を通って運搬する工程と、第一のエレベータを用いて物品を流動床内に降下する工程と、第二のエレベータを用いて物品を流動床から取り出す工程と、流動床の媒体内に設置されたセンサを用いて流動床の温度を制御する工程とを具備する方法。
【請求項２】　上記第一のエレベータが流動床に関して第一の位置にあり、上記第二のエレベータが流動床に関して第二の位置にある請求項１に記載の方法。
【請求項３】　物品を流動床を通って運搬する上記工程がオーバーヘッド機構により移動される製品ホルダーに物品を取外し可能に取り付ける工程を具備する請求項１に記載の方法。
【請求項４】　流動床を通過した空気の一部をリサイクルする工程をさらに具備する請求項１に記載の方法。
【請求項５】　流動床で使用された空気の一部をリサイクルする上記工程が空気を濾過する工程をさらに具備する請求項４に記載の方法。
【請求項６】　流動床内のセンサからの出力が流動床にいつ熱を加えるかと流動床のどこに熱を加えるかとを決定するためのフィードバック制御ループにおいてフィードバックとして用いられる請求項１に記載の方法。
【請求項７】　流動床を通って物品を運搬する上記工程が物品を所望の速度で運搬することを含み、前記所望の速度が物品を熱処理するために必要な流動床内での時間に帰着する請求項１に記載の方法。
【請求項８】　流動床を流動させるために必要な熱の一部をリサイクルする工程をさらに具備する請求項１に記載の方法。
【請求項９】　物品を熱処理するための方法において、物品を熱処理するために第一流動床を通って物品を運搬する工程と、物品を急冷するために第二流動床を通って物品を運搬する工程と、第一流動床から物品を取り出す工程と、物品を第二流動床に移動する工程と、物品を第二流動床に降下させる工程とを具備する方法。
【請求項１０】　物品が第一のステーションと第二のステーションとの間にあるときに物品から媒体を除去する工程をさらに具備する請求項９に記載の方法。
【請求項１１】　物品が第一のステーションと第二のステーションとの間にあるとき

に物品から媒体を除去する工程をさらに具備し、該媒体除去工程が物品から砂をブローする工程と、砂をリサイクルする工程とを具備する請求項９に記載の方法。

【請求項１２】　１時間以下で物品を熱処理する工程をさらに具備する請求項９に記載の物品の処理方法。

【請求項１３】　１時間以下で物品をエージングする工程を更に具備する請求項１２に記載の方法。

【請求項１４】　３０分以下で物品を急冷する工程をさらに具備する請求項１２に記載の方法。

【請求項１５】　物品を急冷する工程と物品をエージングする工程とをさらに具備し、物品を熱処理し、急冷し、エージングするのにかかる時間が２時間以下である請求項１２に記載の方法。

【請求項１６】　物品を処理する方法において、物品を流動床内に配置する工程と、物品を流動床を通って運搬する工程であって物品を熱処理するために必要な流動床内での時間に帰着する所望の速度で物品を運搬することを含む工程と、流動床の媒体内に設置されたセンサを用いて流動床の温度を制御する工程とを具備する方法。

【請求項１７】　物品を処理する上記工程が１時間以下で物品を熱処理することを含む請求項１６に記載の物品の処理方法。

【請求項１８】　１時間以下で物品をエージングする工程をさらに具備する請求項１７に記載の方法。

【請求項１９】　３０分以下で物品を急冷する工程をさらに具備する請求項１７に記載の方法。

【請求項２０】　物品を急冷する工程と物品をエージングする工程とをさらに具備し、物品を熱処理し、急冷し、エージングするのにかかる時間が２時間以下である請求項１７に記載の方法。

【請求項２１】　流動床を流動させるために必要な熱の一部をリサイクルする工程をさらに具備する請求項１６に記載の方法。

【請求項２２】　物品を流動床を通って運搬する上記工程が製品ホルダーに物品を取外し可能に取り付ける工程を具備する請求項１６に記載の方法。

【請求項２３】　物品を流動床を通って運搬する上記工程がオーバーヘッド機構により物品を移動させることを含む請求項２２に記載の方法。